

第1号議案

平成16年度 一般事業報告について

I 国内誘致対策について

1. 新世紀ながさき観光交流事業

(1)ながさき新商品造成事業

①「食」の魅力開発事業

ア「食彩長崎」キャンペーン(平成16年10月～17年4月)

多様化する観光客ニーズに対応するため、地域ごとの「旬」の食材を活用した郷土料理の開発を行い、宿泊施設・飲食店等で提供した。

県内10地区

地区名	料理名	提供期間・参加施設数
長崎地区	みなと長崎あら料理	12月1日～3月31日・15施設
佐世保地区	九十九島カキ	11月1日～4月30日・16施設
	鯛しゃぶ料理	11月1日～4月30日・14施設
諫早地区	すっぽん料理	10月1日～4月30日・6施設
	うなぎ料理	10月1日～4月30日・7施設
島原地区	島原かわはぎ会席料理	10月1日～4月30日・5施設
雲仙地区	よい山よい海うまか膳	10月1日～3月31日・14施設
小浜地区	小浜じげもん会席	12月1日～3月31日・9施設
平戸地区	平戸じげもん御膳	10月1日～12月31日・14施設
	平戸ひらめまつり	1月7日～4月30日・30施設
西彼杵地区	まぼろしのあら御膳	12月1日～3月31日・3施設
	ふるさと薬膳	12月1日～3月31日・3施設
五島地区	五島水イカ	10月1日～3月31日・10施設
	かわはぎ料理	10月1日～3月31日・10施設
松浦地区	アジ・サバ会席料理	10月1日～3月31日・4施設
	とらふぐ料理	10月1日～3月31日・1施設

イ 食べ歩きガイドブック

各地域の多彩な「食」(和食、洋食、中華等)のメニューによる観光客の誘客を図るため、宿泊施設が地域内事業参加料理店の紹介やパンフレットを配置。
(宿泊と食事の分離)

・味彩街道検討会議 平成16年9月10日

出席者:長崎、佐世保、大村、島原、諫早、平戸地区の観光協会

・「食べ歩き長崎・佐世保スイーツ物語」ガイドブックの作成等

タウン情報誌を使って案内人が長崎・佐世保市内の甘い食べ物(スイーツ)を食べ歩きという形で紹介。ホームページも作成。

② 新素材開発育成事業

体験型観光講座や体験インストラクター養成講座を実施、特に今年度は教会ルートの具体的商品化のための教会ガイドの育成やモニターツアーの実施等の事業支援を外海・大村・島原半島・天草・佐世保・平戸地域において実施した。

・教会ルート開発(長崎新キリシタン紀行)

県内に点在する教会を案内する教会ガイドの養成、および新たな観光コースの商品化に対するモニターツアーを実施

ア、外海地区キリシタンガイド養成講座

(8月、10月2回、11月2回、12月) 参加者 延べ110名

先進地視察研修(平戸市) 10月28日～29日 参加者12名

イ、島原・天草キリシタン紀行モニターツアー

平成16年11月4日～5日 参加者40名

ウ、佐世保黒島・平戸キリシタン紀行モニターツアー

平成16年12月18～19日実施 参加者40名

エ、外海・大村キリシタン紀行モニターツアー

平成17年3月29日～30日実施 参加者36名

・体験インストラクター養成講座の開催

①五島地域体験型観光講座(9月) 参加者52名

②西彼北部広域体験型観光講座(9月) 参加者34名

③ 観光バリアフリーの情報提供

「長崎県観光バリアフリー」情報ホームページを平成14年度に開設したが、16年度は各施設を実際に利用して情報を収集することで、利用者の生の声を反映させた情報提供を行った。実地調査は各関係団体と連携して行い、ホームページの内容の充実化を実施。

・長崎市内 動線調査事業(長崎大学との連携)(9月)

長崎駅前・平和公園・爆心地公園・原爆資料館・平和記念館・グラバー園・大浦天主堂・オランダ坂

・佐世保市内 動線調査事業(国際大学との連携)(11月～12月)

JR佐世保駅・西肥バスターミナル周辺・西海パールシー周辺・セイルタワー周辺・ハウステンボス周辺

・島原市内 動線調査事業(国際大学との連携)(3月)

平成ネイチャーセンター・雲仙岳災害記念館・土石流被災家屋保存公園・雲仙地獄・ビードロ美術館・雲仙お山の情報館・小浜町歴史資料館・島原城・みずなし本陣ふかえ

④ 産業観光メニューの開発

これまで点で紹介していた各施設をモデルコースとしてルート化、研修施設として利用しやすい商品提案を行った。

また、新たに視察受入可能な施設を掘り起こし、紹介施設の拡大を図るとともに内容を充実させた「長崎県産業観光情報」改訂版(10,000部)を作成した。

- ・軍艦島(端島)クルーズ定期便就航 (7月～10月の土・日曜日のみ)
16年度実績 5,224人(うち修学旅行生7校707人)
- ・軍艦島ガイド養成講座 (5月、6月2回、7月)
軍艦島クルーズガイド認定者 44名
- ・軍艦島(端島)シンポジウム 10月31日開催 参加者130名
会場:西彼杵郡高島町ふれあいセンター
- ・池島炭鉱体験学習
平成16年度から一定の条件付きで一般観光客の受け入れも可能
受入実績 885名
- ・池島炭鉱モニターツアー 11月22日 参加者27名

⑤ 県内連泊・リピートの推進

- ・ながさきファンクラブ(仮称)創設のためのダイレクトメール

平成15年度に実施した連泊推進キャンペーン応募者の名簿を活用し、資料送付希望者に対して「ながさきファンクラブ(仮称)」創設のために2000名の方にダイレクトメールを実施。旬の長崎県観光情報を定期的に発信することによるリピート推進を図った。

- ・プレゼント付きアンケートの実施

宿泊観光客に対し、プレゼント付き(300名分)のアンケートを実施した。

⑥ 新旅行商品セールス事業

旅行会社やキャリアに対して旅行商品化を要請するとともに、新商品造成に係るパンフレット等の作成や新聞・雑誌等への広告掲載を実施した。

- ・「食彩長崎キャンペーン」企画書1,500部作成及びホームページ作成
- ・九州・中国地域バスツアー企画担当者現地研修・商談会
開催日 8月26日
参加者 九州・中国旅行会社バスツアー企画担当者 18社23名
各自治体、観光協会、旅館ホテル 54名
- ・新商品造成に係るセールス活動及びPR活動(随時)
- ・「食彩長崎キャンペーン」広告
CITY PAPER 御堂筋(11月号)
長崎新聞(2/25)、読売新聞(2/27)、旬刊旅行新聞(11/1)
- ・「食べ歩きガイドブック」等広告 るるぶ九州05

- ・「食べ歩きガイドブック」作成

長崎地区	111店舗	10万部
平戸地区	34店舗	2万部
大村地区	45店舗	2万部
- ・「ながさきごちナビ」ホームページ作成

長崎・佐世保・諫早・大村・島原・平戸の289施設の飲食店を紹介。
- ・「長崎食の企画」広告……財界九州4月号
- ・「教会マナーブック」作成

カトリック長崎大司教区協力を得て、見学する際のマナーガイドブックを作成。日本語版3万部、韓国版1万部作成
- ・「ながさき夕陽フォトコンテスト」募集記事の新聞、雑誌掲載

(2)ながさき新観光情報提供事業

- ① 「ながさきの教会を訪ねて」ホームページ制作

長崎県内の教会の紹介、観光モデルコース、マナーを掲載
- ② 「おもてなしの宿推奨施設」ホームページ制作

「おもてなしの宿推進事業」の1年間のプログラムを修了した推奨の宿ホームページ上で21施設を情報発信。

(3)「もてなしの心」推進事業

- ① 観光地調査事業

観光客に気持ちよく観光してもらい、もう一度来たいと思われる観光地づくりをするため、また地元のもてなしへの意識高揚を図るため、地元観光協会等と一体となって観光地調査を実施。

・五島地区	7月12日～14日	参加者16名	17カ所調査
・島原半島地区	12月6日～8日	参加者12名	16カ所調査
- ② 接客サービス講座

ア 「観光講座」の開催(経営者、管理者向け講座)

7月	対馬地区	18名
10月	県央地区(諫早・大村)	51名

イ 「接客サービス講習会」の開催(現場従業員向け講座)

7月	対馬地区	35名
10月	県央地区(諫早・大村)	66名

《 評 価 》

「食」については、佐世保地区(九十九島カキ)、平戸地区(ひらめ料理)、諫早地区(すっぽん料理、うなぎ料理)などは一定の成果が見られたが、依然として各地域での取り組み方に温度差がみられる。

「食彩長崎キャンペーン」に取り組んで4年を経過し、このように地域に温

度差はあるものの一定の目的は達したとみられ、平成16年度で事業を終了することとする。平成17年度以降は各地域で自主的に取り組んでもらい、県及び観光連盟では21世紀まちづくり補助金等の活用やアドバイスなど引き続き支援をすることとする。

また、泊食分離をさらに進めるために、「味彩街道」をバージョンアップした「食べ歩きガイドブック」の作成し配布したが、「お薦めの食のテーマが一目で分かり、各施設の情報も詳しい。」と好評だった。

産業観光については、歴史的遺産軍艦島(端島)や池島、教会など、こだわりの旅行商品を観光客に堪能してもらうため、ガイドの育成につとめてきたが、県内に数多くのガイドが誕生し、観光客からも喜ばれている。これからは、ガイドのさらなるレベルアップと、各地域での組織づくりやコーディネート機能の充実に力を入れていく。

体験観光については、長崎広域、西彼、北松、島原半島、上五島、下五島、壱岐、対馬地域で受入組織が立ち上がっているが、全国で体験観光が進められる中で、長崎ならではのメニューの開発や体制づくりに力を入れていく。

観光バリアフリーについては、主要観光施設(長崎市、佐世保市、島原市)を車椅子利用者等で実際に体験してもらい評価をいただいて改善に役立てるとともに、バリアフリー施設の情報収集を行い、「観光バリアフリー情報」のホームページの内容の充実をさらに図った。今後、熟年・高齢者のマーケットが有望視される中で、よりきめ細かい情報発信ができるよう努める。

2. 個性的・魅力的な宿創出事業

県内各地域の宿泊施設の魅力向上を図り、お客様に「泊ってみたい」「また泊まりたい」と思っただけの宿泊施設を創出するため、経営者研修やCSリーダー研修を実施するとともに、お客様アンケートを通じた調査事業を実施した。

- ・佐世保地区 参加施設 10施設
(5月、6月、7月、10月、12月、2月、3月)
- ・平戸松浦地区 参加施設 10施設
(5月、6月、7月、11月、12月、2月、3月)
- ・壱岐地区 参加施設 11施設
(5月、6月、7月、10月、12月、2月、3月)

推奨施設 佐世保地区6、平戸松浦地区7、壱岐地区8 計21施設

《 評 価 》

佐世保・平戸松浦・壱岐の3地区で、宿泊施設の経営者、従業員を対象に、研修会やアンケート等を1年間継続して実施し、「また来たい」「行ってみたい」と思わせるような「おもてなしの宿づくり」に取り組んできた。3地区で31

施設が参加し、一定の努力や成果が認められて修了できたのは21施設だったが、参加施設からは、「非常に役に立った。経営者が、従業員が経営に目を向けるようになった。」という、良い評価をいただいている。今後これらの施設については「長崎県おもてなし推奨の宿」として県観光連盟のホームページに掲載するなどPRにつとめるとともに、17年度は島原半島など他地区でも実施する。

3. 重点的観光プロモーション事業

県内の特定地域を、地元の市町村や観光協会、観光施設等と連携し、重点的に販売促進や観光情報の提供を推進した。

(1) 重点的販売促進事業

① キャリアタイアップ

- ・JAL「薫る九州2005キャンペーン」
(12～3月 送客実績(団体)135, 537名)
- ・ANA「佐賀&長崎 西九州キャンペーン」
(10～3月、送客実績150, 684名)
- ・JR九州「来て味んね～ながさき」佐世保・平戸エリア版
(10～3月、送客実績505名)

② エージェントタイアップ

- ・JTB(九州)「平戸ひらめ」 (10～3月、送客実績5, 455名)
 - ・近畿日本ツーリスト(首都圏・中部・西日本)
「ながさき団体ユニットキャンペーン」 (1～3月、送客実績8, 478名)
 - ・日本旅行(赤い風船東日本)「ハウステンボスの休日」
(1～3月、送客実績160名)
 - ・クラブツーリズム(東京・大阪・名古屋・福岡)「大感謝祭in長崎」
(2月、送客実績1, 268名)
 - ・阪急交通社(トラピックス首都圏) (10～3月、送客実績14, 937名)
 - ・HTB桃太郎電鉄 (7月～11月、送客実績8, 500名)
- ※JTB、KNT、NTA、名鉄、西鉄、ANAセールス&ツアーズ、JALツアーズ、JALトラベル、JR九州、旅行計画が参加)

③ バス企画タイアップ

- ・バスツアー企画商品の造成・販売促進に対するタイアップ
阪急交通社(九州営業本部、大分支店)、岩国市交通局、祐徳自動車、サンデン交通、両備バス、宇部市交通局 (10～3月、送客実績5, 007名)

④ PRツール作成事業

重点地域内における観光客への歓迎と、地域内の意識高揚のためのツールを作成した。

- ・ワッペン 1,000枚
- ・ポスター 500枚
- ・チラシ 5,000枚

(2) 重点的誘客宣伝事業

① テレビ

- ・わがまま気まま旅気分(BSフジ、九州各県フジテレビ系)
「長崎の誘惑・港町の映画とドラマ」平戸、佐世保、長崎
- ・春を遊ぼう(NCC 4/23) 平戸、生月
- ・福岡スポット(6/17～7/20 TNC テレビ西日本、FBS 福岡放送)
- ・鹿児島スポット(6/21～26 鹿児島テレビ)

② ラジオ

- ・FM世田谷(12/19 佐世保、ハウステンボスから生中継)

③ 新聞

- ・旅行新聞(6/11 西・遊記 in NAGASAKI 広告
11/11 臨時増刊号にて食彩長崎、西・遊記情報告知)
- ・西日本新聞(4/17 西・遊記広告)
- ・北海道新聞(2/20 ハウステンボスチューリップ祭、九十九島、ハンバーガー等佐世保市内の観光情報)
- ・毎日新聞(1/13 平戸、佐世保観光情報)

④ 雑誌

- ・九州タウン誌のプレスツアー(各県タウン誌の取材招聘実施)
- ・るるぶ長崎(JTB 発行の旅行情報誌内での西・遊記の告知)
- ・旅の手帖(12月号 平戸、佐世保、ハウステンボスを紹介)
- ・レタスクラブ(11月号 九十九島、ハウステンボス等の紹介)
- ・旅と鉄道(秋号 松浦鉄道沿線スポット紹介)
- ・トラベル&ライフ(12月号 佐世保、平戸、ハウステンボスを紹介)
- ・青春18切符(JR時刻表増刊号に佐世保、平戸、ハウステンボス情報告知)
- ・ツーリングGOGO(3、4、5月号にて佐世保、平戸、ハウステンボス等長崎県内情報を紹介)
- ・旅(3月号 平戸、長崎の紹介)
- ・ANA機関誌(株主を対象とした ANA VISION に長崎、平戸情報を掲載)

⑤ インターネット

- ・ホームページ作成
- ・ラストミニット会員に対するメール配信実施

⑥その他

- ・東京営団地下鉄「茅場町駅」電光掲示板広告(3月)
- ・福岡ドームキャンペーン(9月17日福岡ドーム内及びホークスタウン)

《 評 価 》

情報発信については特に重点的に行った結果、佐世保のハンバーガーが大ブームになり、取材も相次ぐなど大きな効果があった。旅行会社による旅行商品化も前年度よりもかなり増えたという評価をいただいている。

佐世保市が実施した「九十九島認知度調査」(H17.2/H15.2 実施)においては、認知度は小幅増ではあるものの、行って見たいと思われる方は5ポイント上昇している。

- ・九十九島を知っていますか？ 37.4% (H17.2) ← 36.3% (H15.2)
- ・九十九島に行ったことがありますか？ 14.4% (H17.2) ← 13.1% (H15.2)
- ・九十九島に行ってみたいと思いますか？ 93.8% (H17.2) ← 88.4% (H15.2)

しかしながら、地域における観光地の魅力づくりや「おもてなし心」の発揮という面では十分でなかったことから、こうした反省を踏まえながら、17年度は島原半島地域で実施することとする。

4. 地域別観光戦略推進事業

国内の発地別及び県内各地別の観光客の動向や問題点を・課題を明確にし、ニーズに対応した旅行商品の造成及び販売促進活動を推進。

(1) エージェント・キャリア対策事業

① タイアップ協賛

- ・JR九州「来て味んね～ながさき」長崎・雲仙・小浜・島原エリア版
(10月～3月 送客実績 1,039名)
- ・近畿日本ツーリスト(九州)「いってみゅうで長崎」
(10～3月、送客実績4,087名)
- ・JTB国内商品事業部社員研修現地研修
JTB九州内各支店等の販売担当者を本県に招聘し、県内観光地知識習得の研修を行った。(11/16～17 17名参加)
- ・長崎県観光宣伝隊(12/6～9)
県内宿泊施設及び観光施設と一緒に、都内の大手旅行会社6社に、商品造成及び販売促進のための観光宣伝隊を派遣した。(参加者 42名)
- ・島原半島観光フェアにおいて、誘客宣伝を実施(大牟田市 8/29)

② ツール制作

- ・県内観光情報パンフレット(上期・下期)の作成

(2) 戦略的マスメディア等活用事業

① テレビ

- ・旅チャンネル(11/2~28)(NAGASAKI にとっておきガイド)
- ・王様のブランチ(2/19)(長崎県の旅)

② 雑誌

- ・オレンジページ
 - 5月号 海・街・リゾート3つの魅力に触れる旅「ようこそ佐世保」
 - 4月号 裏道・坂道・ぶらり散策「ようこそ長崎」
- ・トラベル&ライフ(7月号 キリシタン紀行と佐世保の休日)
- ・旅(3月号、4月号 勝谷雅彦の地麵‘ウォーカー 長崎市、新上五島町、島原半島)
- ・毎日が発見(2月号 遠藤周作文学館と長崎キリシタン巡礼の旅)
- ・旅と鉄道(春号 よくわかる「和・華・蘭」長崎の魅力)
- ・旅の手帖(4月号 大陸への日本の窓 壱岐・対馬、小浜温泉)
- ・船の旅(4月号 歴史が通った国境の島 対馬)
- ・いい旅見つけた(12月号 長崎・平戸で異国情緒を味わう)

③ ポスター

5種類(長崎、佐世保、平戸、島原、雲仙) 各500枚

④ 次世代観光モニターツアー

東京を中心に活躍する女性を中心に、本県の観光地としてのあり方を提言いただくためのモニターツアーを実施

- ・ハウステンボス
- ・島原半島

(3) PRツール作成費

- ・県内イベントリーフレット
- ・ロケ地マップ 17,500部
- ・テーマ別パンフレット 5種類 各5,000部
- ・実用地図 20,000部

《 評 価 》

大手旅行会社の営業担当者の現地研修を実施したり、観光について研究する女性グループを招聘して意見を聞くなど、有意義な事業ができた。特に後者については、雲仙とハウステンボスについて率直な意見を聞くことができ、今後のあり方を考える上で大いに役に立った。マスメディア活用については、人脈を生かしながら、テレビや雑誌等への掲出を数多く、しかも格安で実施することが

できた。

17年度は、より戦略的にエージェント・キャリアとのタイアップ、マスコミへの露出を実施していきたい。

5. 修学旅行誘致対策事業

県内の観光にとって安定的な誘客と将来のリピーターに繋がる修学旅行の積極的な誘致を実施した。

①ダイレクトメールによる情報発信(全国の学校及び教育委員会)

全都道府県・政令指定都市・市町村教育委員会、小中高校 10,068件

②修学旅行誘致対策打ち合わせ会議(4/26、7/27)

市町村、観光協会、観光施設等との事業調整等

③学校及び旅行会社への直接訪問セールス及び実態調査

市町村、民間と一体となって実施 8都県 489箇所

④旅行会社の教育旅行担当者を本県へ招聘し現地研修を実施

・東急観光 20名(7/6~8)

・JTB東日本 74名(7/9~10)

⑤修学旅行担当教員モニターツアーの実施

・東京都中学校教員 4名(8/27~29)

・宮城県内高校教員 3名(12/26~28)

⑥修学旅行セミナーの実施

日本修学旅行教会から講師を招き、修学旅行のあり方等のセミナーを実施した。

12/1 参加者200名

《 評 価 》

本県の体験型学習を中心として情報発信を行うとともに、これまで続けてきている県の囲い込み、これまで来ていなかった県の新規開拓を目的として、8都県の学校訪問を実施した。

また、修学旅行の誘致において強い影響力を持つ旅行会社の教育旅行担当者を本県へ招聘し、現地で実際に体験学習をしていただいたが、参加者のアンケートでは、ほとんどの人にとって大きな関心があり、手応えを感じた。

今後も継続して学校訪問を行うとともに、教育旅行担当者の研修会や修学旅行生と本県学校との交流に力を入れたい。

6. コンベンション誘致推進事業

(1) 事業活動

①長崎県コンベンション会場視察ツアー (8月) 参加者6名

②平成16年度コンベンションセミナー開催 (10月)

参加者 主催団体71名、関連企業・協会91名 合計146名

- ③日本工学会事務局長研修会でのプレゼンと名刺交換会 (11月)
参加者 会員79学会の内 事務局長 53名(学会)
- ④第14回国際ミーティング・エキスポ(東京)参加 (12月)
 - ・海外企業インセンティブ商談会 43企業商談
(長崎・佐世保各協会対応)
 - ・東京都内 主催団体本部訪問 33件
- ⑤長崎県コンベンション会場視察ツアー (1月)
参加者 日本工学会会員対象14名

(2) 販売活動

①セールス活動

- ・県内 12回(長崎市内含まず)
- ・福岡 7回
- ・東京 9回 74件(含むIME・東京セミナー時訪問)

②訪問時情報収集した大会

- ・H17年度開催25件(うち11件企画提案)、18年度開催9件(うち2件企画提案)、19・20年開催3件

(3) 業務活動

①コンベンションデータ整理 データ入力件数 1,400件

②コンベンションガイドブック改訂版の作成ほか、販売ツール・広告・営業用グッズの作成

《 評 価 》

昨年に引き続き、長崎でのセミナーの開催、IME出展の他、新しい取組として日本工学会事務局研修会でのプレゼンテーションやその会員を対象にした長崎県内へのコンベンション会場ツアーを実施した。

誘致実績の年度間での単純な比較は難しいが、これまでの活動の結果、九州大会以上の規模の大会でみると、誘客人数はやや増加しており、長崎のコンベンション誘致活動が実を結びつつある。

今後も各市町村との連携をさらに密にするとともに、東京事務所との連携強化を図り、首都圏での誘致活動を強化していきたい。

II 海外誘致対策について

1. 国際観光推進事業

中国、韓国等の東アジア地域を主なターゲットとして、国が進めるビジット・ジャパン・キャンペーン及び他県、地域との連携を図りながら、交通機関・旅行会社等関係機関とのタイアップによるPR事業及び具体的な観光客誘致に繋がる旅行商品造成対策を重点的に実施。

(1) 旅行商品企画造成エージェント、キャリア等招聘事業

具体的な誘客対策となるパッケージツアー誘致促進のためエージェント・キャリア等の招聘を行い、商品造成のための素材調査等を実施して長崎県の観光ルート組み込みを図るとともに、九州各県との連携により魅力的な観光ルート商品の造成を図った。

<中国対策>

- ・深センインセンティブツアー・・・VJC事業 (4月)
- ・「ローズ婚典」組織委員会招聘・・・VJC事業 (5月)
- ・上海CITSインセンティブツアー招聘 (6月)
- ・上海市对外服务有限公司インセンティブツアー視察団招聘 (6月)
- ・江蘇省視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (8月)
- ・天津市視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (8月)
- ・浙江省視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (8月)
- ・山東省青島市視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (8月)
- ・遼寧省視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (9月)
- ・山東省視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (9月)
- ・遼寧省大連市視察団(ビザ解禁予定地区)招聘 (9月)
- ・長崎～上海線25周年記念MU幹部招聘 (10月)
- ・山東・遼寧視察ツアー招聘・・・VJC事業 (12月)
- ・北京ファミツアー招聘・・・VJC事業 (12月)
- ・深センファミツアー招聘・・・VJC事業 (12月)
- ・招商局グループ中空噴水招聘・・・VJC事業 (3月)

<韓国対策>

- ・ゴルフ商品造成大韓航空・大手旅行社等招聘 2回 (6・11月)
- ・巡礼ツアー促進カトリック関係者・旅行社招聘 3回 (5・8・11月)
- ・長崎県・熊本県天草地域巡礼ツアー招聘・・・VJC事業 (11月)

<その他(観光訪問団・視察団受入等)>

(中国)

- ・浙江省教育関係者視察団 (7月)
- ・遼寧省旅遊局訪問団 (10月)
- ・大連市教育界日本考察団・・・VJC事業 (11月)
- ・北京修学旅行視察団・・・VJC事業 (12月)
- ・深セン宝安区教育界日本修学旅行視察団・・・VJC事業 (12月)
- ・上海教育者日本修学旅行視察団・・・VJC事業 (1月)

(韓国)

- ・京畿道教育関係者招聘・・・VJC事業 (7月)
- ・大邱・釜山地域校長視察招聘・・・VJC事業 (1月)
- ・ソウル地域校長視察招聘 (2月)
- ・韓進観光巡礼ツアー視察訪問団 (10月)

(台湾)

- ・桃園信用合作社インセンティブ金融考察団 (11月)

(2) エージェント等現地セールス事業

現地エージェント・キャリアへの旅行商品企画提案、新規商品化協議等のため、担当者を各国へ派遣し魅力的な九州・長崎商品の造成を図った。

<中国対策>

北京、上海、広州、その他新たなビザ解禁地区(江蘇省・天津市・浙江省・青島市・遼寧省・山東省・大連市)の政府関係者、航空会社、指定旅行社等に対し、随時セールスを実施

(5月、6月、7月、8月、11月、2月、3月)

●誘客実績

- ・深セン訪日旅行団 (5月) 160名
- ・中信旅遊総公司送客キャンペーン (8月～) 6団体 184名
- ・青島市第1陣団体観光客団(青島市) (10月) 130名
- ・上海市对外服务有限公司インセンティブツアー (10～11月) 3団体250名
- ・春節(旧正月)ツアー誘致 (2月) 10団体 342名
- ・修学旅行団 (7～2月) 10団体 484名

<韓国対策>

ソウル、釜山の航空会社、主要旅行社等に対し、随時セールスを実施

(4月、7月、8月、9月、10月、12月、1月、2月、3月)

●誘客実績

- ・「旅行博士」長崎キャンペーン (年間) 60,000名
- ・「ロッテ観光」冬期座席ブロックキャンペーン (11～2月) 2,000名
- ・長崎定期便巡礼ツアー (年間) 325名
- ・韓進観光長崎チャーター巡礼ツアー (10～11月) 1,100名
- ・大韓航空「大邱チャーター便」 (1～2月) 26便 1,709名
- ・大韓航空「光州チャーター便」 (1月) 10便 843名
- ・韓国人ゴルフコンペ(3大会) 200人
- ・修学旅行団 13団体 3,242名

<台湾対策>

台北・高雄の航空会社、指定旅行社等に対し、随時セールスを実施

(6月、10月、11月)

●誘客実績

- ・マンダリン航空「台北チャーター」(宮崎県との連携)
毎週土曜日 (4～10月) 55便 5,700名
- ・中華航空「高雄チャーター」(宮崎県との連携)
毎週土曜日 (1～3月) 20便 2,982名

<香港対策>

- ・香港の航空会社、指定旅行社等に対し、随時セールスを実施

(5月、6月)

●誘客実績

- ・「ノービザキャンペーン」定期便利用 (4~3月) 5,914名
- ・キャセイパシフィック航空「チャーター」(宮崎県との連携)
(7~8月) 5便 1,300名
- ・ドラゴン航空「旧正月チャーター」(宮崎県との連携)
(2月) 6便 780名
- ・ドラゴン航空「イースターチャーター」(宮崎県との連携)
(3月) 3便 421名

(3)海外メディア総合戦略事業

各種媒体、機会を活用して観光PRを行うとともに、観光説明会を行うことにより、認知度向上による観光客誘致を図った。

① 国際観光展出展、説明会等開催

(観光展)

- ・高雄レジャーリクレーションフェア (5月) 150,000名
- ・北京国際観光博覧会 (7月) 10,000名
- ・中国遼寧・東アジア国際観光博覧会 (8月) 70,000名
- ・釜山国際観光展 (10月) 82,000名
- ・上海世界旅遊資源博覧会 (1月) 40,000名

(説明会)

- ・長崎県観光説明会(大連市、8月) 70名
- ・JATA主催・九州観光説明会(上海市、9月) 100名
- ・上海エアポートセールス・観光説明会 (上海市、3月) 38名
- ・修学旅行説明会(ソウル市、7月) 60名
- ・修学旅行説明会(大邱市、10月) 80名
- ・修学旅行説明会(釜山市、10月) 80名
- ・修学旅行説明会(光州市、3月) 30名
- ・長崎巡礼ツアー説明会(ソウル市、8月) 110名
- ・長崎巡礼ツアー説明会(仁川市、9月) 70名
- ・長崎巡礼ツアー説明会(大田市、9月) 70名
- ・長崎巡礼ツアー説明会(大邱市、9月) 65名
- ・台湾太平洋そごう「長崎観光フェア」(HTB共同事業)(台北市、10月)
- ・長崎・ハウステンボスフォトコンテスト(HTB共同事業)
(台湾、10月~12月)

② テレビ番組制作支援

<中国対策>

- ・上海教育電視台「旅遊縦横・九州風情遊」・・・VJC事業(11月)

- ・北京電視台「国際双行線」(11月)
- ・北京電視台「好山好水好心情」(12月)
- ・上海電視台「婚事全接触」・・・VJC事業(12月)

<韓国対策>

- ・平和放送「長崎・五島巡礼の旅」(9月)

③ 海外メディア招聘

<中国対策>

- ・長崎県集中プレストリップ(HTB共同事業) (7月、5名)
- ・九州グルメ紀行招聘・・・VJC事業 (11月、7名)
- ・九州新幹線ツアールート招聘・・・VJC事業 (2月、3名)
- ・新婚旅行ルート開発招聘・・・VJC事業 (12月、6名)

<韓国対策>

- ・長崎県集中プレストリップ(HTB共同事業) (5月、19名)
- ・雑誌「CURO」招聘 (4月、6名)
- ・長崎巡礼紀行招聘 (8月、2名)
- ・新韓銀行、三星カード会員誌招聘 (9月、2名)
- ・ゴルフ専門誌招聘 (11月、5名)

<台湾対策>

- ・長崎県集中プレストリップ(HTB共同事業) (3月、7名)
- ・TVコマーシャル作成取材・・・VJC事業 (1月、2名)

<香港対策>

- ・長崎県集中プレストリップ(HTB共同事業) (6月、4名)

④ 観光情報発信(雑誌・新聞広告、インターネット)

ア 国際観光振興機構(JNTO)サイトへの情報掲載、リンクポイント設置

- ・英語・中国語(簡体字・繁体字)、韓国語による観光情報発信

イ 観光連盟ホームページへの英語版情報掲載

ウ 旅行雑誌等広告掲載

<台湾対策>

- ・中華航空「長崎風情遊」PR広告(HTB共同事業) (5月～6月)
- ・マンダリン航空台北チャーターPR広告
(HTB・宮崎県共同事業) (5月～6月)
- ・中華航空高雄チャーターPR広告
(HTB・宮崎県共同事業) (12月～2月)

<香港対策>

- ・「ノービザキャンペーン」PR広告(宮崎県共同事業) (年間)

(4) 誘致インフラ・ツール整備事業

旅行商品企画提案、観光展等における一般消費者へのPRのための素材

作成を行い、企画作成した旅行商品への参加促進を図った。

・外国語パンフレット(中国語・簡体字)、デジタル写真集の増刷

《 評 価 》

エージェント・キャリア招聘については、韓国における「ゴルフツアー」や「巡礼ツアー」、中国における修学旅行などテーマを絞った集中的な関係者招聘のほか、韓国の修学旅行、中国の新規ビザ解禁地対策など、各国のビザ緩和措置等に即応した招聘事業を実施した結果、いずれも相当数の誘致実績があがり、有効であった。

現地セールス活動については、現地旅行社との商品企画、事業協議等のため頻繁に現地訪問し、企画責任者・実務担当者等との人脈構築や商品作成を図った結果、年間を通じた韓国・台湾・香港からのチャーター便の誘致や中国の新規ビザ解禁地からの第一陣誘致など前年度を大きく上回る実績を達成した。

また、メディア対策等PRについては、各国で開催された観光展への計画を上回る積極的参加や、各国主要都市でのテーマを絞った観光説明会開催、各国マスコミの集中的な取材招聘等により認知度向上のためのPRに努めた結果、ツアー参加者の増加実績があがり有効であった。

17年度も、こうした方策を踏襲するとともに、本年4月に設置された九州観光推進機構と十分連係をとりながら、外客誘致に努めたい。

2. 長崎・上海・広東ネットワーク強化事業

国際県「長崎」の知名度アップと長崎・上海航空路線の利用率向上を図ることを目的に、本県と友好交流関係にある上海市及び訪日観光客の約6割を占める広東省において、メディア等を活用した積極的な観光PRを実施。

(1) 上海「長崎ウィーク」推進事業

上海市等のテレビ、新聞を活用して長崎県の総合的な魅力のPRを展開。

- ① 長崎県メディアプロモーションIN上海 (9月、参加者55名)
- ② 「上海東方衛視・花開く東方」取材陣の招聘 (10月、7名)
- ③ 上海「長崎ウィーク」新聞広告掲載 (9月、「新聞晨报」)
- ④ 上海東方衛視総経理外の招聘 (10月、2名)
- ⑤ 上海新聞記者及び中国人歌手の招聘 (3月、7名)

(2) 「長崎県メディア・セールス・キャンペーンIN広東」推進事業

広東省等のテレビ、新聞を活用して長崎県の総合的な魅力のPRを展開。

- ① 「広東電視台・逍遙游」取材陣の招聘 (1月、4名)
- ② 広東電視台テレビドラマ制作担当者の招聘 (3月、3名)
- ③ 長崎県観光プロモーションIN広東 (1月、参加者100名)

(3) 上海観光フェスティバル「長崎県花車」参加事業

旅行商品「長崎風情游」のPRをコンセプトとし、ハウステンボスと島原半島を表現する内容とした長崎県花車を制作、フェスティバルに参加し、長崎の知名度向上を図った。

・参加期間 2004年9月19日(日)～10月7日(木)

《 評 価 》

上海市及び訪日観光客の約6割を占める広東省において、メディアを活用した各種事業を展開したなかで、中国メディアを対象とした説明会では、本県の観光資源の紹介はもちろんのこと、中国メディアの本県取材時の協力体制等も紹介するなど、内容自体を一步踏み込んだものとし、本県への取材に結びつくような工夫を行った。また、テレビ番組についても、これまでにない大型番組を誘致することに成功し、衛星放送により全国に配信されるなど、当該番組を通じ本県の知名度向上に大いに貢献した。

17年度以降も、継続かつ積極的な中国メディアへのアプローチを実施し、更なる本県の知名度向上を図っていくとともに、中国人観光客の誘致に結びつけていく。

Ⅲ 委託事業その他

1. 長崎県観光大学運営事業

観光関連産業従事者等を対象に、観光学、観光ボランティア創設講座を開催した。

(1) 観光学研修講座

地域の観光振興に携わり、施策の企画立案又は観光プロモーションを実施する人材育成を目的に講座を開催した。

・受講生 19名

・開催回数 5回

・開催場所 長崎、熊本・宮崎・鹿児島県現地視察、大村・佐世保・福江、ハウステンボス、長崎

(2) 観光ボランティア創設講座

地域の観光やまちおこし参加者等を対象に、観光ボランティア活動の意義や組織づくり、運営方法などについて、各地域の実情に即した事例を取り上げながら、他地域の活動例等も参考に講座を開催した。

・対馬市 (9月、2月) 参加者 延べ80名

・小浜町 (10月、2月) 参加者 延べ62名

2. 長崎県観光情報システム整備事業

県が開設しているホームページ「ナイスネット」の管理委託業務を通じて情報内容の充実・更新を図った。

- ・新着情報、イベント情報の提供
- ・地図情報の充実
- ・相互リンク情報の拡充

3. ながさき魅力再発見事業

全国にも誇れる夕陽スポットが数多くあり、天然の観光資源である「夕陽」を活用した観光客の誘致を図るためフォトコンテストを開催した。

募集期間 平成16年8月～17年1月

応募者数 410名 (応募総数 935点)

入賞発表 平成17年2月25日

グランプリ1点、優秀賞3点、特別賞7点

表彰式 平成17年3月5日

「ながさき夕陽フォトコンテスト作品写真展」開催

日時 平成17年3月6日～16日(11日間)

出島へトル部屋2階(90点展示 入場者数1000名)

日時 平成17年3月22日～25日(4日間)

長崎駅前かもめ広場(180点展示 入場者数3000名)

4. 行事育成費

- ・長崎伝統芸能振興会等への助成

5. 組織活動費

- ・新規会員の拡大促進

6. 観光情報センター運営費

- ・本県への観光客に対し、観光情報、資料提供、案内業務を実施。

7. 行事の共催

- ・雲仙国際ゴルフ大会への協賛等

8. 国際観光交流事業

- ①釜山広域市観光協会との姉妹協会事業

- ・釜山広域市観光協会訪問(10月、2月)
- ②長崎国際観光船受入委員会へ負担金
- ③台湾集客宣伝事業
 - ・太平洋そごう百貨店「長崎観光展」開催 於 台北市
開催日 平成16年10月8日(金)～10日(日)
そごう百貨店の日本物産展とタイアップした観光展の開催
 - ・長崎・ハウステンボスフォトコンテスト開催(平成16年10月～12月)による観光PR

9. 九州各県との共同宣伝事業

(1) 九州ブロック広域観光振興事業推進協議会の事業

- ①第17回韓国国際旅行博(KOTFA2004) 出展
[担当: 日本観光協会九州支部]
 - ・開催日 平成16年6月3日(木)～6日(日) 於 ソウル特別市
- ②九州観光説明会開催 [担当: 日本観光協会九州支部]
 - ・開催日 平成16年6月7日(月) 於 全羅北道全州市
- ③第12回台北国際旅行博(ITF2004) 出展
[担当: (社)福岡県観光連盟]
 - ・開催日 平成16年11月18日(木)～21日(日) 於 台北市
- ④九州観光説明会開催 [担当: (社)福岡県観光連盟]
 - ・開催日 平成16年11月16日(火) 於 高雄市
- ⑤九州観光DVDの作成(韓国版、台湾版)
[担当: 熊本県観光連盟]
[担当: (財)みやざき観光コンベンション協会]
- ⑥九州観光ガイドマップの作成(韓国版)
[担当: (社)大分県観光協会]
- ⑦九州観光ガイドブックの作成(中国版、英国版)
[担当: 日本観光協会九州支部]
- ⑧九州観光ポスターの作成(韓国版、中国版)
[担当: (社)佐賀県観光連盟]
- ⑨九州国際観光シンポジウムの開催 [担当: 九州運輸局]
 - ・開催日 平成16年11月30日(火) 於 別府市

(2) 日本観光協会九州支部の広報宣伝事業

「第2回九州春の大観光展」

- ・開催日 平成17年2月19日(土)～20日(日)
- ・開催場所 広島市紙屋町シャレオ中央広場
- ・内容 春に向けての九州観光展として、九州各県のミスによる観光PRと来場者への花のプレゼント、誘客宣伝を実施

10. 日本観光協会への拠出

- ・(社)日本観光協会が実施する全国広域振興事業に対して拠出

11. 会議出席

(1) 会議の開催

開催日	会議名等
平成16年 6月14日	平成16年度理事会・総会(雲仙)
平成16年 8月25日	専門委員会合同会議(長崎市)
平成17年 3月29日	理事会(長崎市)

(2) 会議への参加

① 地域別観光事業検討会議

対象地域	開催日
長崎地域	6/30、9/2、12/27
佐世保地域	7/16、9/13、12/16、2/15
平戸地域	7/29、10/28、12/15、2/14
小浜地域	10/19、12/16、2/14
島原地域	10/22、12/16、2/14
雲仙地域	10/19、12/16、2/15
下五島地域	7/5、12/22、2/9
上五島地域	12/8、2/9
壱岐地域	7/12、12/20、2/10
対馬地域	7/1、1/6、2/7

② 日本観光協会

開催日	会議名等
平成16年 4月28日	観光情報システム連絡会議(福岡市)
平成16年 6月11日	通常総会(浜松市)
平成16年 4月16日	都道府県指定都市観光協会連絡会議(名古屋市)

③日本観光協会九州支部

開催日時	会議名等
平成16年 4月13日	九州ブロック広域観光振興事業推進協議会幹事会(福岡市)
平成16年 4月19日	九州ブロック広域観光振興事業推進協議会(福岡市)
平成16年 5月20日	評議員会・通常総会(佐世保市)
平成17年 3月25日	九州ブロック広域観光振興事業推進協議会幹事会(福岡市)
平成17年 3月25日	幹事会・評議員会(福岡市)

④九州地方観光連盟等連絡協議会

開催日	会議名等
平成16年 7月 8日	常任理事・事務局長会議(石垣市)
平成16年12月 8日	会長会議(福岡市)
平成17年 2月 7日	担当者会議(山鹿市)

⑤その他

開催日	会議名等
平成16年 6月 9日	九州キャンペーン受入促進協議会(福岡市)
平成17年 3月 1日	九州キャンペーン受入促進協議会(福岡市)

第3号議案

平成16年度 特別宣伝事業報告について

1. 集客宣伝事業

本県観光の更なるイメージアップを図るため、次のような宣伝及び誘客活動を実施した。

① キャンペーン推進事業

- ア 博多どんたく観光宣伝隊派遣(平成16年5月3日)
- イ 長崎自動車道金立SAにおける観光宣伝隊派遣(平成16年10月3日)
- ウ 東京長崎懇話会～長崎県の未来を語る夕べ～出展
(平成17年2月15日)
- エ 三菱電気本社ビルDCROSS出展(平成17年2月16日～22日)

② 観光情報提供事業

- ア 観光情報誌「ながさき発見マガジン」の発行 年4回 各10万部
- イ マスメディアによる宣伝
 - ・テレビ
「遠くへ行きたい(日本テレビ系)『島の人 島の風』『和・華・蘭の港町』
～ 平戸、長崎 ～ 」(平成17年1月9日、1月30日)
アサデス九州・山口(NCC系)長崎ウィーク
(平成17年3月14日～17日)
 - ・ラジオ
長崎の観光情報(熊本フェリーとのタイアップ)
- ウ その他
 - ・インターネット
ラストミニット会員(42万人)に対するメールによる情報発信 6回
 - ・ホームページ
ロケ地マップホームページの作成
 - ・県内観光地写真撮影及びデジタルデータ化(50枚)

③ エージェント・キャリア対策事業

- ア JR全国駅5連貼りポスター掲示(17年1月) 1,460駅
- イ JR時刻表(17年1月号)宣伝PR おすすめの旅「平戸、佐世保」
- ウ 九州キャンペーン受入促進協議会負担金

《 評 価 》

観光情報誌「ながさき発見マガジン」は、地域に密着したきめ細かい情報が得られると読者の評価も高い。今後も、より戦略的な情報発信に心がけ、読んで楽しく、実際に行ってみたくなるような情報誌を目指していく。

インターネット「ラストミニット」においては、長崎県の観光情報のほか、長崎県向けの旅行商品も扱っており、16年度においては500万件弱のページビューと3千人弱の長崎県の旅行商品の購入があり、着実に成果が上がってきている。

17年度も継続していくこととする。